



このコーナーでは、水資源機構の環境保全の取り組みを紹介します。

## 緑豊かな触れあいの場

# さいた 財田里山ビオトープ

### 「財田里山ビオトープ」の多様性

香川用水施設緊急改築事業で建設された香川用水調整池（宝山湖）（香川県三豊市）の最上流部に、宝山湖の建設に伴う自然環境変化を緩和し、元々生息していた動植物の保全を図ることを目的に整備した「財田里山ビオトープ」があります。

このビオトープ<sup>\*</sup>は、水田、ホタル水路とそれを取り囲む周辺林からなり、総面積20,000m<sup>2</sup>の中に、植物約310種（重要種13種含む）、陸上昆虫類・水生生物約463種（重要種30種）の多様性に富んだ動植物が生息しています。

### ビオトープにおける活動

<sup>かなえだに</sup> 鼎谷管理組合、財田自然観察・保全同好会、香川県立笠田高校等とともに、水資源機構は「財田里山クラブ」を結成し、自然環境の保全と活用方法のあり方についてアイデアを出し合い、合意形成を図りながら様々な活動を行っています。

- ①稲作体験（水・土と触れあい自然を体感）
- ②生物観察会（動植物を通じて生命を学ぶ）
- ③ホタル観賞会（環境保全の必要性を知る）



財田里山ビオトープ

### ④貴重植物移植保護活動（貴重種、固有種の保護）

これらの活動には、地元公民館から子供達も多数参加し、ビオトープを通じて環境について学んでいます。

### 交流の場として

このように、財田里山ビオトープは動植物の保全だけの場所ではなく、人が集まり交流する場でもあります。

稲作体験では、一般的な田植えのほか、田んぼに突き刺さるように工夫して育てた苗を空高く放り投げる「空中田植え」があり、子供達には大人気。

生物観察会では、自然観察同好会メンバーによる解説を受けながら動植物の観察を行い、動植物の生態について知識を深め、生命の大切さについても考えます。

香川用水施設と自然環境が調和し融合したこの場所は、人に優しさや懐かしさを感じさせてくれる、自然にも人にも優しい癒しの空間（地域）でもあるのです。

<sup>\*</sup> ビオトープ：動植物や植物が恒常的に生活できるように造成または復元された小規模な生息空間。



子供達の歓声上がる「空中田植え」